

多様な力が育てる、持続可能な農業！



▲株式会社ピーカブーの作業風景



▲IWATATEFARMのチンゲンサイ

農林水産業関係者向け

農福連携セミナー



「農業の困りごとを解決する“ノウフク”という選択肢」

日時 **2026年 7月31日(金) 10:30~12:00**

対象 全国の農林水産業関係者（農林水産業関係者以外の参加も歓迎です）

開催形式 オンライン+アーカイブ配信

定員 500名

応募締切 7月27日（月）17時

申込フォーム <https://forms.gle/oH3V4c9VEJL5gKyb6>

講師へのご質問は、本セミナー参加申込フォーム内で受付しております。 ※当日は、質疑応答の時間は設けておりません。

参加
無料

お申込みはこちら



農福連携 とは

農福連携は、障害者、高齢者、生活困窮者等、さまざまな生きづらさを抱えた方々の農林水産分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組です。

「農」と「福」が繋がることで、農林水産業と福祉の両サイドの課題解決と、地域の活性化や新たな価値の創造につながります。農林水産業やこれに付随する加工、販売等の「農」に、障害者等生きづらさを抱えた方々の「福」が、就労、活動等の形で参画することを通じて、多様な人々が役割を分担し合い、「happy-happy」となる新たな社会の構築を目指すものです。

農福から始まる、誰もが輝ける地域づくり

2026.7.31

農林水産業関係者向け 農福連携セミナー

ノウフク

プログラム

開会挨拶 一般社団法人 日本農福連携協会 会長理事 皆川 芳嗣

農林水産省農福連携推進室より情報提供

講演①

講師 **石井 亮** 氏



ノウフク・アワード
2025
優秀賞受賞

株式会社 ピーカブー 代表取締役

障がいのある人と
共に歩む農業経営者

農業を『誰もが輝ける場所』へ導く経営力
～ピーカブーが実践する、多様な人材を活かす強い組織づくり～

神奈川県三浦半島にて、カブの大規模生産・出荷調製を展開。就労支援パートナーであるパーソルダイバースをはじめとした外部の組織と、信頼関係に基づいた確固たる作業請負体制を築いている。現場の「作業分解」や「マニュアル化」を徹底することで多様な人材を重要な戦力として活かし、自社経営の発展と地域の担い手不足解消を両立させる強い組織づくりを実践している。取組は高く評価され、「ノウフク・アワード2025」優秀賞を受賞。

ホームページ



講演②

講師 **岩立 昌之** 氏



ノウフク・アワード
2024
フレッシュ賞受賞

JAちば東葛 ノウフク×プロジェクト部会長

JAと生産者が一体で
進める産地モデル

農家の不安を安心に変える、産地ぐるみの農福連携
～JAと生産者が一体で進める、持続可能な産地づくりのリアル～

千葉県にて、JAが中間支援となり生産者と一体で「ノウフク×プロジェクト部会」を設立。農家側の不安に対し、JAが間に入ることで安心感へと変え、年間80件にのぼるスポットの農作業委託を拡大させている。部会として初めて「ノウフクJAS」を取得するなど、持続可能な産地づくりやブランド化を推進し、地域農業の担い手不足解消と発展に繋がるリアルな産地モデルを提示している。「ノウフク・アワード2024」フレッシュ賞を受賞。

ホームページ



モデレーター **天野 雄一郎** 氏

大隅半島ノウフクコンソーシウム 事務局長

現場の実践をつなぎ、地域協議会の設立と運営を担う調整役として農福連携に取り組む。大隅半島や西日本・東日本のノウフクコンソーシアムの役員をはじめ、日本農福連携協会アナリスト、熊本県や宮崎県などの地域協議会アドバイザーを多数兼任。農福連携技術支援者、ノウフクJAS検査員としても全国の現場に深く伴走している。



今後の開催予定

8月21日(金) 福祉関係者向け 農福連携セミナー

1月下旬～2月上旬頃 交付金活用セミナー

